

事務事業評価シート

(H.30)No.	3261	(H.29)No.	3261
-----------	------	-----------	------

事務事業名	環境保全型農業直接支援対策事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	岩本 靖之	

会計区分	事業コード	302103
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	日本型直接支払交付金事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業振興費	環境保全型農業直接支援対策事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	1	良好な地域環境づくり
	施策	1	環境保全
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
環境保全効果の高い農業を実施し、農業が本来有する自然循環機能を維持推進することにより、環境意識の高い農業者を育て、食の安全を求める消費者のニーズに応え、また継続性の高い農業を推進できる。
事業内容
農業分野における地球温暖化防止、生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者や集落営農者に対し環境保全型農業を実施した面積に応じて交付金を交付し、支援を行う。 予定支援単価 8,000円(作付け面積10a当たり)

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	有機農業など環境保全の効果の高い営農活動を行う農業者等に対して、支援を行う。 7,520円/10a×951a=715,152円	有機農業など環境保全の効果の高い営農活動を行う農業者等に対して、支援を行う。	有機農業など環境保全の効果の高い営農活動を行う農業者等に対して、支援を行う。

H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
有機農業など環境保全の効果の高い営農活動を行う農業者等に対して、支援を行う。	有機農業など環境保全の効果の高い営農活動を行う農業者等に対して、支援を行う。	有機農業など環境保全の効果の高い営農活動を行う農業者等に対して、支援を行う。

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		743千円		892千円	728千円	728千円	728千円
内訳(千円)	国・県支出金	563		680	591	591	591
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	180	0	212	137	137
人工数	職員	0.12人		0.12人	0.12人	0.12人	0.12人
	臨時職員等	0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	888千円	0千円	888千円	888千円	888千円	888千円
①+②総事業費	0千円	1,631千円	0千円	1,780千円	1,616千円	1,616千円	1,616千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
有機農業等を行う農業者等に対し2組織(5人)の支援を行い、環境保全型農業の取組を推進した。今後、この取組を継続すると共に、地元産農産物の生産にあたり、いかに有機農業等の手法を定着していくかが課題である。有機農業等を支援することにより、自然環境の保全に貢献した。地域住民団体等による環境保全型農業への取組拡大が図られる可能性がある。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
有機農業等は労力を要することから、意欲ある農業者がより環境保全に効果の高い営農活動に取り組む場合に、幅広く支援を行っていくことが必要である。	第3次名張市農業マスタープラン